

平成24年度  
在宅医療連携拠点事業  
活動報告

医療法人社団 爽秋会 岡部医院

# 爽秋会（岡部医院）の概要



- スタッフ数（H25年1月現在）
  - 医師 7名（非常勤 2）
  - 看護師 25名
  - ヘルパー 12名（非常勤 3）
  - CM・MSW 6名
  - 作業療法士 5名（非常勤 2）
  - 鍼灸師 1名
  - チャプレン 1名
  - 研究員 1名
  - 配送・運転手 4名
  - 事務（含むIT） 17名（非常勤1,派遣1）
- 年間患者紹介数
  - 517名
- 年間看取り数
  - 326名

# 爽秋会 訪問看護ステーションサテライト



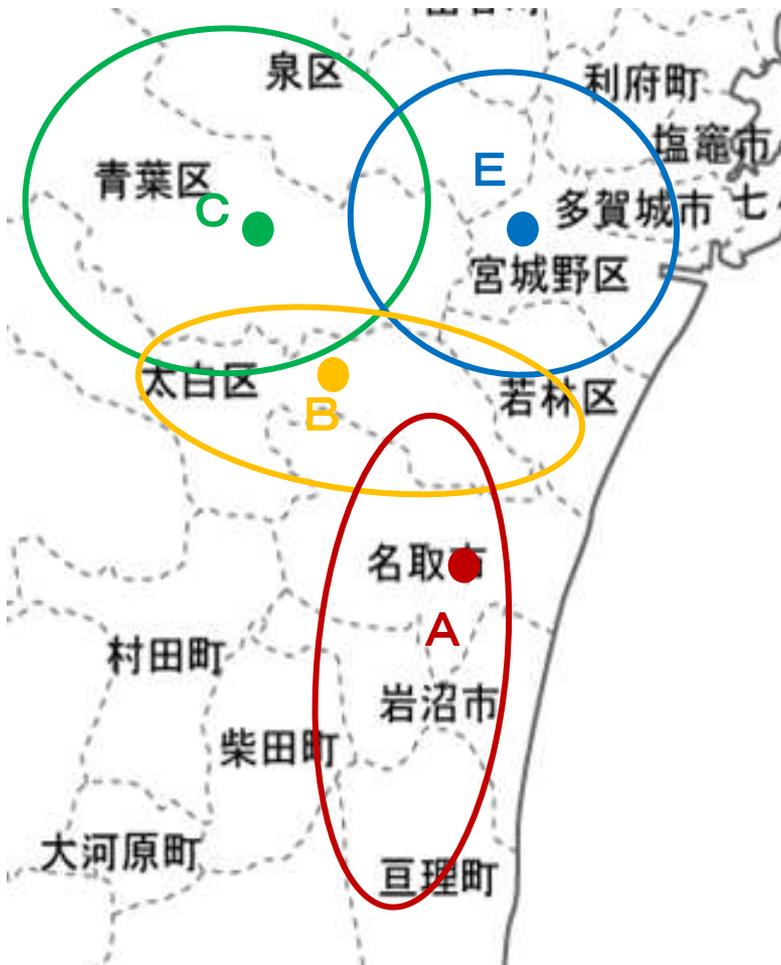
**栗生サテライト**  
青葉区栗生

**新田サテライト**  
宮城野区新田

**富沢サテライト**  
太白区富沢

**岡部医院**  
名取市植松

# 訪問エリア



**A** : 亶理、岩沼、名取、  
太白区

**B** : 若林区、太白区、

**C** : 青葉区、泉区、  
太白区

**E** : 若林区、宮城野区、  
泉区、青葉区、利府町  
多賀城市

# 仙台市太白区を対象地区に



- 太白区の概要
    - 人口：224,273人
    - 65歳以上：44,268人
    - 高齢化率：19.7%
- 平成25年1月1日現在（仙台市HPから抜粋）

# 仙台市太白区の医療介護資源

区分	件数
在宅支援診療所	14
薬局(在宅患者訪問薬剤管理指導料の届出あり)	54
訪問看護ステーション	14
訪問リハビリステーション	2
ショートステイ(特養)	11
ショートステイ(老健・療養型)	6
訪問介護事業所	54

# 在宅医療連携拠点事業の5つのタスク

1. 多職種連携の課題に対する解決策の抽出
2. 在宅医療従事者の負担軽減の支援
3. 効率的な医療提供のための多職種連携
4. 在宅医療に関する地域住民への普及啓発
5. 在宅医療に従事する人材育成

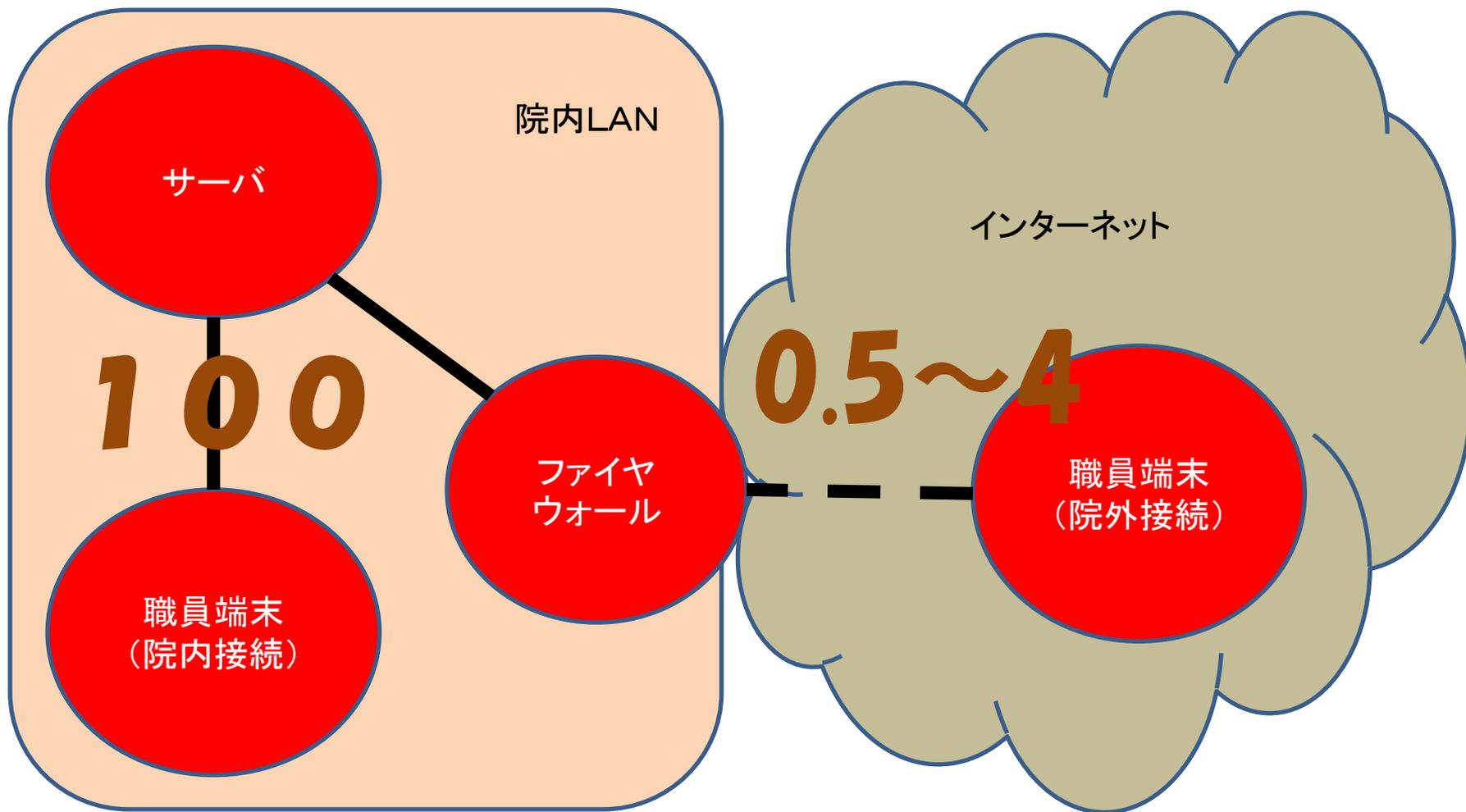
# 1) 多職種連携の課題に対する解決策の抽出

- 全ての職種が関わるスピリチュアルケアを中心に、地域のケア従事者と事例を通じた勉強会を実施（医師・看護師・薬剤師・ケアマネジャー・ヘルパー等が参加）
- 7月31日実施 第1回スピリチュアルケア
- 10月25日実施 施設と在宅医療についてTV会議
- 10月30日実施 第2回スピリチュアルケア
- 11月29日実施 第3回スピリチュアルケア
- 1月29日実施 臨床倫理について（グループワーク）
- 3月26日or29日 課題・解決策報告会

## 2) 在宅医療従事者の負担軽減の支援

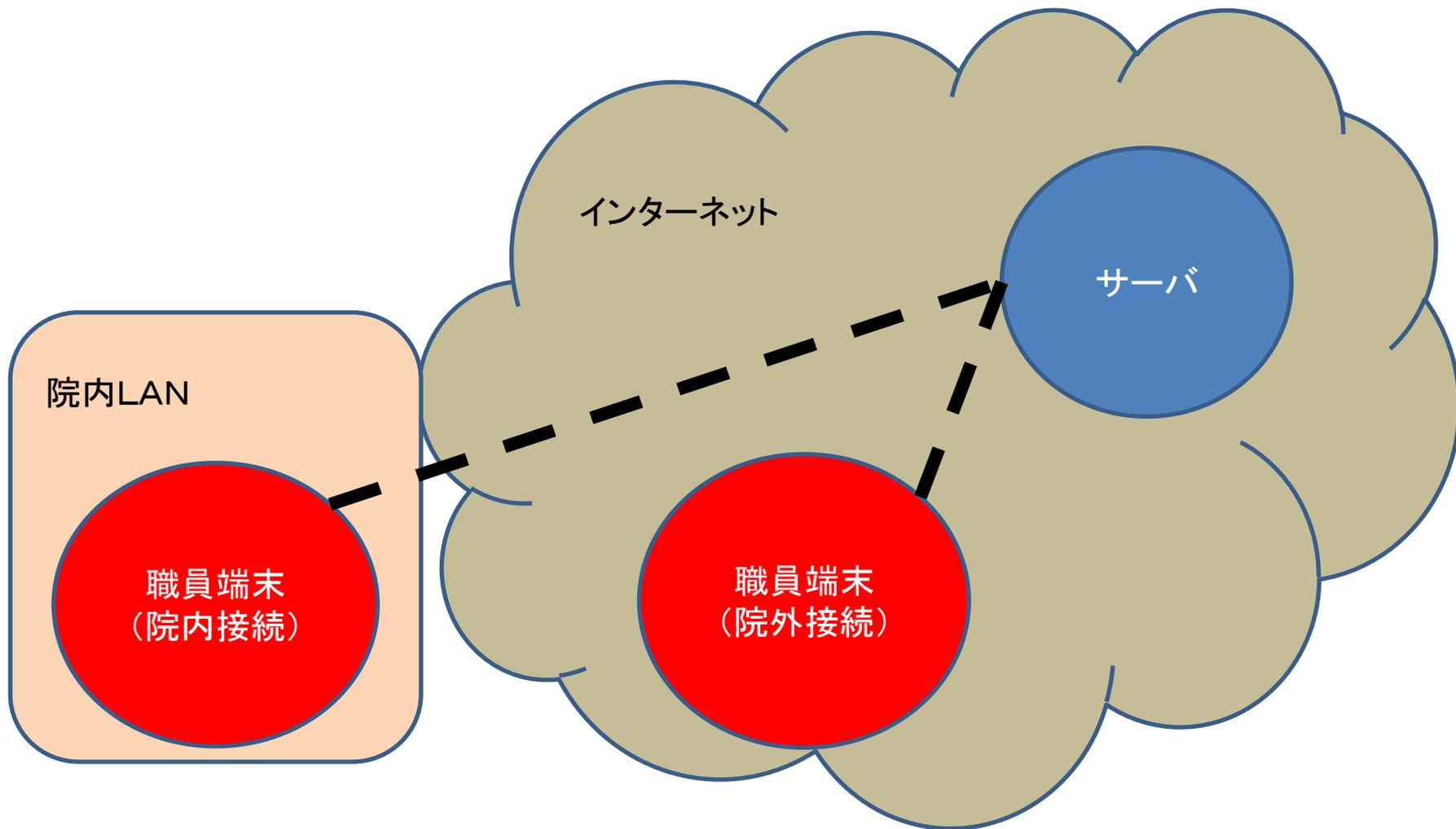
- 24時間対応の在宅医療提供体制の構築
- チーム医療を提供するための情報共有システムの整備
- 電子カルテシステムの導入

# システム構成 (旧)



全ての資産が保守(24時間連続運用維持)対象

# システム構成（新）



保守対象はクライアントのみ

# 爽秋会システム

## 専門業務システム (含レセプト)

赤線は  
シングルサインオン  
と新患登録情報

電子  
カルテ

管理サーバ

訪問看護st  
ソフト

居宅介護支援  
事業所ソフト

共有サーバ

訪問介護事業所  
ソフト

鍼灸ソフト

請求情報  
(医療・介護保険、自費)  
(患者ID・属性、年月)

経費情報  
(使用物品・薬剤)  
(患者ID・属性、年月)

請求情報は各レセプトから、  
経費情報は各ソフトから  
共有サーバ経由

## 経営システム

会計  
システム

経営解析  
システム

勤怠情報

勤務情報(開始/終了時刻、患者ID)  
緊急・周知情報

## 一般業務システム

電子  
メール

予定表

ポータル  
サイト

ファイル  
共有

Google Apps

### 3) 効率的な医療提供のための多職種連携

- 連携拠点に配置された介護支援専門員の資格を持つ看護師等と医療ソーシャルワーカーが、地域の医療・福祉・保健資源の機能等を把握し、地域包括支援センター等と連携しながら、様々な支援を包括的かつ継続的に提供できるよう関係機関に働きかけを行う。
- 12月 外部ケアマネジャーへのアンケート実施
- 1月 病院へのアンケート実施
- 1月末 アンケート回収
- 2月15日 ケアマネジャー同士の情報交換会実施
- 2月中旬 情報集計
- 3月 ガイドブック作成予定

## 4) 在宅医療に関する地域住民への普及啓発

- 仙台市太白区 of 地域住民を主な対象として、在宅緩和ケアをテーマに普及啓発活動を実施
- 宣伝方法：地域の情報誌（河北ウィークリー）を活用し、2週にわたって地域住民へ案内。
- 地域包括支援センターにも啓発依頼
- ⇒定員90名に対して約130名の参加希望あり。

## 5) 在宅医療に従事する人材育成

- 連携拠点のスタッフは、多職種協働による人材育成事業の研修のいずれかに参加し、都道府県リーダーまたは地域リーダーとして、在宅医療に関わる人材の育成に積極的に関与すること。
- PEACEプロジェクトの指導者研修を終えた医師、日本緩和医療学会暫定指導医が、地域の研修病院の研修医や在宅医療に関わる各職種の指導に当たる。